

食安輸発0902第2号
平成26年9月2日

各検疫所長 殿

医薬食品局食品安全部監視安全課
輸入食品安全対策室長
(公印省略)

「平成26年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について
(鯨肉の残留農薬)

標記については、平成26年3月28日付け食安輸発0328第10号（最終改正：平成26年8月25日付け食安輸発0825第1号）に基づき実施しているところです。

今般、輸入鯨肉に係る取扱いの通知を改正したことから、下記のとおりモニタリング検査を実施しますので、御了知の上、対応方よろしくお願いします。

記

1. 対象食品
鯨肉
2. 検査項目
DDT、ヘキサクロロベンゼン（HCB）及びヘプタクロル
3. 検査件数
35個体
4. 検体採取方法
平成26年3月28日付け食安輸発0328第10号「「平成26年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について」別表第4の畜水産食品の残留有害物質等によること。
5. 検査方法
平成17年1月24日付け食安発第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」によること。
6. その他
残留農薬に係る検査を次の優先順位に従い、検査を実施すること。
(優先順位) 残留農薬：①皮（*尾羽）②歯須 ③舌 ④筋肉 ⑤かぶら骨
*尾羽については皮の検査結果をもって判断する。皮の輸入がない個体については尾羽において検査を実施する。